

第 37 回バイオマスタウン構想の公表

【新規公表：1 構想の概要】

和歌山県北山村（きたやまむら）

北山村は、森林率 94%という地域特性を活かし、林地残材等の木質系バイオマスのエネルギー利用を進めるとともに、地域の主要産物であるじゃばらの搾りかす等の食品残さや生ごみの飼料化を図り、農林業や観光等の地域産業の活性化に結びつく、北山村独自の地域循環型社会の形成を目指す。

【改訂：1 構想の概要】

青森県中泊町（なかどまりまち）

中泊町は、豊富な森林資源、稲わら、もみ殻を原料に、炭化やペレットの製造施設を設置しペレットストーブ等の熱源とし利用する他、民間活力により液体バイオ燃料製造を行い、農業施設等の暖房燃料、農業機械及び町公用車、一般家庭、農家の燃料として利用する。

また、転作田等に B D F の原料となる資源作物の栽培を推進する。